

## 請求明細書・給付管理票返戻（保留）一覧表

事業所（保険者）番号 9970000000

平成24年6月審査分

平成24年6月30日

事業所（保険者）名 □□介護事業所

1 頁

〇〇県国民健康保険団体連合会

保険者（事業所）番号 保険者（事業所）名	被保険者番号 被保険者氏名	種別	サービス 提供年月	サービス 種類	サービス 項目等	単位数 特定入所者介護費等	事由	内 容	備 考
990000 A市	0000000001 かこ 知	請	H24.5	51		3,465	B	保険給付率：記載された値が計算値を超過	ASSA
990000 A市	0000000001 かこ 知	請	H24.5	51		3,465	B	保険請求額：記載された値が計算値を超過	ASSA

## 内容・・保険給付率、保険請求額：記載された値が計算値を超過

保険及び公費請求額と利用者負担額（標準負担額）の合計が、審査により検算した合計（または訂正後検算した結果）を超えています。

原因・・このエラーについては、エラーとなった個所により様々な原因が考えられますので、実際には「内容」欄に表示されている個所をみて原因を判断する必要があります。基本的には本会の審査システムで、請求された請求明細書の内容を検算（例えば、サービス内容の単位数×回数 の合計値が正しく入力されているか）し、システムで検算した値より請求明細書の値が多い場合です。

対応・・返戻（保留）一覧表の「内容」欄に表示されているエラー個所をみて、該当のエラー個所について計算が正しく行われているか確認します。

また、「内容」欄の“記載された値が計算値を超過”の前に表示している項目（この例では保険給付率）の設定が誤っており、訂正している場合もありますので注意してください。

同様に、同一請求明細書で他のエラーがあれば、そのエラーが一部記入漏れ等で算定できないサービスとして扱われている場合があります。この時、システムはエラー分を除いて再計算しますので結果的にASSAエラーとなります。他のエラーを修正すれば計算値は正しい場合は、エラーを修正し再提出してください。確認の結果、計算値等が誤っていれば修正して再請求します。保険給付率等は保険者が登録する受給者台帳に誤りがある可能性もありますので、請求明細書に誤りが無い場合は保険者（市町村または福祉事務所の介護保険担当係）へ照会して下さい。

「備考」欄 エラーコード=ASSAとなる請求明細書の例 (この請求明細書を提出すると前ページの「請求明細書・給付管理票返戻(保留)一覧表」が国保連から送付されます。)

被保険者	被保険者番号	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 1
	(フリガナ)	カゴ 知
	氏名	介護 太郎

給付費明細欄	サービス内容	サービスコード	単位数	回数 日数	サービス単位数	公費分 回数等	公費対象単位数	摘要
		旧措置施設Ⅱ 1	5 1 1 1 6 5	6 5 1	3 1	2 0 1 8 1		
合計					1 9 8 0 9			

請求額集計欄	区分	保険分					公費分				
①単位数合計		2	0	1	8	1					
②単位数単価		1	0	0	0	円/単位					
③給付率		9	7	/100						/100	
④請求額(円)		1	9	5	7	5	5				
⑤利用者負担額(円)			6	0	5	5					

エラーの原因と対応

原因・・・  
請求明細書に入力(記入)されている請求額“195,755円”の方が、給付率を訂正して再計算した請求額“181,629円”より大きいため、ASSAエラーとなっています。

対応・・・  
給付率を、請求額、利用者負担額を修正し、再請求してください。  
請求内容に誤りがない場合は、保険者が国保連に登録している内容に誤りがないか保険者へ照会してください。

①国保連は、保険者が国保連に登録している給付率を確認し、請求明細書の給付率と異なっている場合は、「保険者が登録している給付率」に訂正します。(ASSAエラーと表示されます。)

②訂正した給付率を元に国保連システムで再計算します。  
単位数合計：20,181  
単位数単価：10.00円  
給付率：90%  
請求額：181,629円  
利用者負担額：20,181円

受給者台帳  
(保険者(A市)が国保連に登録している受給者の情報)

被保険者番号	被保険者名	保険給付率
000000001	カゴ 知	90%

←→ 突合を行う箇所  
←..... 国保連が点検時に見る箇所